

令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立西戸山小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年5月14日】

授業作り	重 点	児童理解を深め、学級経営や専科経営を充実させ、温かな人間関係の中で、目標、内容、活動を明確にした授業や語彙力・表現力等の基礎的言語能力を習得することにより、基礎的・基本的内容の習得と思考力・判断力・表現力の育成を図る。
環境作り		時間や場所の制約に対して ICT の活用や、効率化を図り、先行研究に触れながら実践研究を行い指導力の向上に努める。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢、声の出し方、話の聞き方、学習の基本的な約束などを確実に身に付けるようにする。 ・ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて読めるようにする。 ・ 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞、句読点、鍵括弧などの使い方が理解できるようにする。 ・ 自分の思いや考えをもち、それを言語で表現できるようにする。 ・ 算数の基礎・基本を定着させる。 ・ 具体的な場面に基づいて、数量の関係に着目し、計算の意味を考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 話型や学習の約束を提示する。 ▶ 音読練習、読書の時間を確保し、多様な文章に触れさせる。 ▶ 授業で繰り返し正しい使い方を確認する。ノートやワークシートの表記の仕方を丁寧に指導する。 ▶ スピーチや対話の機会を設定する。 ▶ 具体物、半具体物を使用する。 ▶ 数に着目し、具体物や図などを用いて計算の仕方を考える活動を行う。
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> ・ 順序に気を付けて、話したり書いたりする力を身に付けられるようにする。 ・ 自分の思いや考えをもち、それを言語で表現できるようにする。 ・ 算数の基礎・基本を定着させる。 ・ 具体的な場面に基づいて、数量の関係に着目し、計算の意味を考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 音読練習やスピーチを意図的に設定する。読み聞かせや学校図書館を活用する機会を増やす。 ▶ 一人で考える時間、ペアで伝え合う時間、全体で交流する時間を授業内で確保し、表現する機会を増やす。 ▶ 作文などの文章を書く機会を増やし、考えたり書いたりする活動を行う。 ▶ 基礎的な計算練習の時間を授業内で毎回確保する。 ▶ 計算の力を定着させるために、デジタルドリルや紙のドリルを活用し繰り返し練習させる。
3 学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に活動に参加し、自分の考えを伝える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順序に気を付けて、話したり書いたりする力を身に付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 話型や文章のひな型を掲示し、計画的に繰り返し指導する。

<p>年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに根拠をもって筋道を立てた表現を身に付ける必要がある。 ・国語科においては「正しく受け答えをする」「事実を正確に伝える」「情報を分析する」などの技能を伸ばす必要がある。 ・算数科においては、筋道を立てて考え伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を正しく書いたり、計算を正しく行ったりできるようにする。 ・ ・課題に沿って学習し、自分の考えを発表したり、相手の考えを理解しようとしたりする力を身に付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日常的に音読練習やスピーチを行ったり、読み聞かせや学校図書館を活用する機会を増やしたりする。 ▶ 文字や計算の力を定着させるために、デジタルドリルや紙のドリルを活用し繰り返し練習したり、家庭学習の習慣付けを図ったりする。 ▶ 授業では毎回めあてを確認し、ラインを引いたり具体物を操作したりしながら、正しく課題を捉え、自分の考えをまとめる時間を確保する。 ペアや小グループで考えや意見を交流する機会を設ける。
<p>4 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味や文章の組み立て、順序を正しく捉えて理解し、読み取ったことを基に観点に沿って文章で表現する力の向上を図る必要がある。 ・自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えたり、相手の意図や話の中心に気を付けて聞き取ったりする能力の向上を図る必要がある。 ・四則計算の基礎を確実に身に付けるために、計算の仕組みを十分に理解する必要がある。繰り上がり、繰り下がり の計算、大きな数のしくみにも課題がある。 ・具体的な場面を式に表したり、既習事項を活用して問題を解決したりする力の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味を理解しながら、書かれていることを正しく読み取ったり、それを基に要約したり、自分の考えを書いたりできるようにする。 ・自分の思いや考えをもち、相手に分かりやすく伝えることができるようにする。また、相手の意図や中心に気を付けて話を聞き取ったり、メモしたりできるようにする。 ・四則計算の知識、技能を確実に身に付けさせ、定着できるようにする。 ・既習事項を活用し、言葉や図、表などを用いて問題場面を表すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文章の読み取りを丁寧に行うとともに、資料から大切な語を抜き出す活動を行う。また、その語を活用して文章を書いたり、観点に沿って自分の考えを書いたりする活動を行う。 ▶ 様々な教科を通して、対話を重視した言語活動の充実を図る。 ▶ 朝のスピーチや読み聞かせなどの活動を通して感想を伝え合い、相手に分かりやすく話したり、中心に荷を付けて話を聞き取ったりできるようにする。 ▶ 四則計算の定着を図るために、デジタルドリルや紙のドリルを活用し、繰り返し取り組んだり、家庭学習の習慣付けを図ったりする。 ▶ ラインを引いたり、図に表したりすることで正しく課題を捉え、式に表すことができるようにする。 ▶ 既習事項を確認することで、それ活用し問題を解決することができるようにする。 ▶ 個で思考する時間、ペアで考えを伝え合う時間、全体で交流する時間を確保することで、思考を深められるようにする。

<p>5 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明確にし、筋道を立てて自分の考えを表現する力を身に付ける必要がある。文章の組み立てや順序を正しく捉えて理解し、読み取ったことを基に文章で表現する。 ・ 国語科においては「正しく受け答えをする」「事実を正確に伝える」「情報を分析する」などの技能を伸ばす必要がある。 ・ 算数科においては、筋道を立てて考え、伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を示しながら自分の考えを表現できるようにする。自分の考えを観点に沿って文章で書く活動を継続する。 ・ 国語科においては「正しく受け答えをする」「事実を正確に伝える」「情報を分析する」などの技能を伸ばすために、言葉の正しい使い方を意識した指導を図る。 ・ 算数科においては、言葉や数、式、図、表などを用いて、筋道立てて考える児童を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自分の体験や既習事項、叙述などを根拠にして考えさせる。 ▶ 対話を重視した言語活動を行う。児童の意見を価値付けながら、指導を行う。 ▶ 説明や理由・手順の説明の仕方を授業の中で指導する。
<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を正しく読み取るために、配当漢字や、言語に関する知識の定着を図る必要がある。 ・ 自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える能力の向上を図る必要がある。 ・ 基礎・基本の計算を確実に理解する必要がある、知識・技能の習得を図る。特に整数の乗法や除法の仕方の理解に課題がある。 ・ 具体的な場面を式に表す点で課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の意味を理解しながら、書かれていることを正しく読み取れるようにする。 ・ 読み手や聞き手の感想や意見を参考にして自分の意見や考えを分かりやすい文章で伝えるための工夫を身に付けられるようにする。 ・ 正しく計算処理できる知識・技能を身に付けさせる。 ・ 問題場面を正しく把握し図や式で的確に表現できるようにする。確実に計算処理できる技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 朝学習の時間を活用して読書量を確保する。日常的に国語辞典を活用し、語彙を向上させる。新出漢字を用いた熟語や短文を書く活動を取り入れ、語彙の獲得を図る。 ▶ 発問を工夫したり、例示やモデルを提示したりする。自分の考えを言語化し、交流する機会を意図的に設定する。 ▶ 基礎的な計算問題のドリル学習を行う。集団の実用に合うよう単元計画を工夫する。自己解決の時間を確保する。 ▶ 場面を図に表す経験を積み重ね、説明したり立式したりする活動を積極的に行う。文章題のドリル学習を行う。